

ほくたち・わたしたちの未来

「将来何になりたい？」と聞かれて「別にない…」と答えてしまうそのキミ！ぜひこのコーナーを読んで下さい。キミが将来やりたいことが見えてくるかもしれない。今回紹介するのは、「歴史学」「地理学」です。

分野の特徴

◎現代に生きる視点から人類の歩みを振り返る「歴史学」

歴史学は、人類が刻んできた「足跡」をあらゆる角度から検証する学問です。人類の転換点となる大きな出来事（戦争や革命、発見・発明）、国々の興亡をはじめ、昔の人々の生活、社会状況などを分析し、個々の事柄にどんな関連があるのか、現在から振り返ってどんな意味をもつのかなどを考察します。いわば、人間の文化や社会を「時間」という軸で切り取って分析する学問といえます。

ギリシア時代にまでさかのぼる古い学問なので、しっかりと理論的枠組み、研究方法が確立しています。

各時代の政治権力や経済など大きな要素を扱う「政治史」「経済史」と、民衆の生活文化などにスポットを当てた「文化史」に大きく分かれており、古代・中世・近現代という時代区分、または国や地域の区分により「西欧近代政治史」「日本中世文化史」などに細分化されます。

◎自然や社会条件から地域文化の多様性に迫る「地理学」

地理学は、世界の国や地域に暮らす人々の生活、文化、社会、経済といった要素を、その地域と関連つけて研究する学問です。いわば、人間の文化や社会を「空間」の視点から分析する学問です。一口に地理学といっても、研究手法はさまざまで、自然地理学、人文地理学、地誌学という3つの分野に大きく分かれています。日本では伝統的に「地誌学」が主流で、全国の土地ごとの風土や生活文化を《地域性》との関連で記録していく研究が中心

でした。近年では、地形や気候、人口や産業、経済などあらゆる要素を総合して体系的に分析する「系統地理学」の分野が大きな発展を遂げています。これは、地形や気象の観測、統計データの分析など、理学的な手法を駆使する学問領域です。さらに、地域文化を守るためには、あるいは街を活性化するためにはどうすればいいか、という実践的なテーマを扱う研究もあります。

何を学ぶ？

◎人間の未来のために、人類の足跡を資料や調査で検証する

大学の「歴史学」は、歴史上の出来事や人物、年代など知識を覚えて、時代の流れをつかむ高校までの歴史の学習と異なり、自らの足と手を使って史料を集め、各時代の社会状況を新たに捉えなおすことが中心課題となります。そのために、基礎課程では、文献資料の検索法や古文書の解読法、遺構や建築物などの史跡調査の方法（測量や発掘）といった実践手法を身につけます。

そのうえで、政治体制の変化、経済や産業の変転などその時代の大局を捉える科目、生活実態と社会風潮、事件や災害、文化と風俗といった歴史の細部に関する科目を学びます。その後に、時代区分（古代・中世・近代・現代）ごと、あるいは国や地域ごとに研究領域の中から特定の専攻テーマを選びます。大学では、単に「過去を知る」だけでなく「過去から学ぶ」こと、つまり、人類の現在・未来を考えるための指針を発見するという、目的意識をもって取り組むことが大切です。

◎衛星画像の分析と測量などの野外調査が同居

大学の「地理学」では、高校で習う各国（地域）の多様な暮らしや文化を理解することに留まらず、それらの文化や暮らしの背景にある要素が何か、つまり各地域の社会や生活が「なぜそうなったのか」という理由を説明することが大きな課題となります。

そのため授業では、「人文地理学」「自然地理学」の概

論を学ぶ一方で、野外観察や地形測定、地図製作などの調査や実験に関する実践的な技法も学びます。最近では、地形データや衛星画像などを用いたコンピュータによる分析手法が主流になっていますが、現地に出向いての調査や測量などを行うフィールドワークも重視されます。専門課程では「文化系（人文地理）」あるいは「環境系（自然地理）」のいずれかの分野を選んで基幹領域を学ぶケースが多いですが、具体的なテーマを決めて実際に現地に赴き、調査、測定、聞き取りをしてレポートを作成するのが、一般的な学習のスタイルです。

学問トレンド

◎文化史や文化財の保護を専門的に学べる学科も登場

歴史学では、近年、「文化財学科」「歴史遺産学科」などの《文化財》関連の学科が増えています。貴重な文化遺産を守るための分析調査や修復技術、文献や美術品を撮影してライブラリ化する「デジタルアーカイブ」の専門技法を学ぶ学科です。

地理学では、「地理学科」が最もポピュラーな学科です。「文学部」「理理学部」など文系の学部を設置している大学と、理系の「地球環境科学部」に設置している大学があります。人文地理学、自然地理学のいずれの分野も学べますが、大学あるいは設置される学部によって、研究できる領域には傾向の違いもありますので、学科選びの際には、大学案内などで目的の領域を学べるかどうかを確認してください。

（参考：大学逆引き辞典 <http://www.gyakubiki.net/>）

この職業を探せ！

前号の正解は、臨床検査技士でした。

22 教室に貼ってある「13歳のハローワークマップ」の中から、次のヒントに合う職業を探してね。

ヒント1

本の表紙やカバーなどをデザインする。

ヒント2

読者が手にとって見たくなるようなデザイン

を考える。
本の外観をデザインする仕事、本文をデザインする仕事がある。
（参考：13歳のハローワーク公式サイト）

フラワーぶんぽく

ホッチキスの針を取るのに苦労したことはありませんか。ツメで引っかけて取ることが多いと思いますが、それだと指先が痛くなってしまうですね。針がフラットに閉じるタイプだとツメを引っかけることも大変です。ホッチキスには針を取るためのツメがついていますが、使いにくいことが多いですね。

実は、ホッチキスの針を取るための専用の道具「リムーバー」というものがあります。これだと簡単に針を取ることができ便利です。仕組みは簡単。ペンチのような形のリムーバーの先をホッチキスの針のすき間に入れます。レバーをにぎると針を持ち上げるように浮かして紙からはずしてくれます。痛い思いをして取っていたのがうそのように簡単です。ただ、しっかりしたものはちよつと値段も高いし、毎日使うものではないので買うのをためらうかも。値段が安いと、見た目にあまりかわいくないのでそれもちよつと…。



最近雑貨屋さんで見つけて、思わず買ってしまったのがこのリムーバーです。色は赤。ちよつと小さめです。これなら筆箱の中や机の上にあってもいいですね。ただ、小さいためか、ぎゅつと握るとき力が伝わりにくく、針をとるのにちよつとコツがいります。まあ、見た目がかわいいのでそこは目をつぶってしましましょう。色は白・黄・赤の3色ありました。



これで楽しくホッチキスの針を取ることができますね。

（手島）